

◎大船支所の経費

大船支所管理運営事務 【 大船支所 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提
行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします
計画の推進
コミュニティー活動の活性化

【事業の目的】

対象 市民及び自治町内会連合会等

意図 市民生活の中で頻度の高い用件について、身近なところで行政サービスを提供するため。

効果 市民の利便性の向上及び効率的な行政運営を図る。

【事業の内容】

- (1) 大船支所運営事務
 - ・ 戸籍届、住民異動届及び印鑑の登録又は廃止に係る申請の処理、並びに諸証明書の交付を行った。
 - ・ 国民年金及び国民健康保険の諸届出等の受理、並びに国民健康保険被保険者証の交付等を行った。
 - ・ 市税及び諸証明手数料等の収納事務を行った。
 - ・ 地域団体等との連絡、協調に関する事務を行った。
- (2) 大船支所管理事務
 - ・ 大船行政センターの維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,311	46,190	44,907		1,283
主な支出内訳				
・ 大船支所運営事務				
事務補助嘱託員報酬 4人				4,032
文房具等消耗品費				846
電話、ファクシミリ等電信料				602
OA機器操作等に関する労働者派遣委託料				2,748
電子複写機保守業務委託料				222
軽自動車購入費				789
・ 大船支所管理事務				
大船行政センター光熱水費				5,137
施設維持修繕料				2,808
昇降機等施設保守点検手数料				1,442
施設総合管理業務委託料				25,137
夜間機械警備委託料				279
空調機等保守点検委託料				170
自動扉保守点検委託料				164
レジスター保守点検等委託料				67

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-34 大船支所管理運営事務 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	296 支所窓口事務							
		296 地域団体事務							
		296 地域防災施設管理							
		297 行政センター施設管理							
主管課	大船支所	関連課							
分野名	行財政運営、コミュニティー活動の活性化								
目標 (目標値)	地域住民の身近なところできめ細かな行政サービスを提供するとともに、支所機能の充実を図り、より一層の市民生活の向上・福祉増進を目指す。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	大船地区人口	42,280人	41,893人	41,678人					
運営資源 状 況	決算値	44,907千円	46,213千円	49,085千円	19年度から四支所・市民サービスコーナー・芸術館の文書、収納金の搬送業務のため技能職2人が配置された。				
	(国・県)								
	(負担金等)	67千円	69千円	80千円					
	(一般財源)	44,840千円	46,144千円	49,005千円					
	人員配置数	11.0人	11.0人	9.0人					
	人件費	96,454千円	97,711千円	80,221千円					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	141,361千円	143,924千円	129,306千円					
	市民1人当 りの経費	801円	818円	739円					
	対象者1人 当りの経費	3,343円	3,436円	3,087円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
昼休み窓口全業務の実施 (17年度は9月から実施)	◎	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日			
		実績値	毎日	毎日					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市
住所戸籍異動	×	×	○	×	○	○	○	○	×
国保・年金	×	×	○	×	○	○	○	○	×
市税等の収納	×	×	○	×	○	×	○	○	×
相模原市	三浦市	秦野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市
○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
○	○	×	×	×	×	×	○	×	×

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	<p>(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)</p> <p>再任用職員、事務補助嘱託員も広範な支所窓口全般に対応できるように、ローテーションに入って、さらに能率的運営を図ることが今後のワンストップ窓口の充実につながるが、現状は、会計業務や証明発行業務に特化した事務を行っているのが実情である。勤務日数の制限や法により戸籍を扱うことができないなどの制限があるためである。</p> <p>とはいえ、正規職員数にもまったく余裕がなく、支所業務の幅広さに対応して市民サービスを充実させていくには、厳しい現状がある。支所業務全般に係る膨大な知識を要し、全庁的理解をしているスペシャリストの職員を育成するなど、特別な体制が必要になってきている。</p>
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	<p>(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)</p> <p>正規職員は、窓口サービス充実のため、昼休み窓口で戸籍事務、住所異動事務、国保・年金事務など、通常の時間帯に扱う事務の他に、会計業務や証明発行業務、原付バイク受付業務等にも従事し、支所業務全般に対処できるような取り組みを、昨年度に引き続いて行った。</p>
	未解決の課題・問題点	<p>(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)</p> <p>支所は、本庁の複数の部・課の業務を担っているが、その多数の業務について、それぞれ個々にオンライン化が進められており、それに対応するための事務がますます複雑・膨大となっている。支所業務全般に精通するためには、それなりの年数を要するのが実態である。</p> <p>また、自治町内会・地区社会福祉協議会など地域諸団体に対して、行政への依存体質を脱却できるよう自立的に運営できるような支援を行っていくことも今後必要である。</p>
	今後の方針(対応・改善)	<p>(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)</p> <p>限られた人数であっても、遅滞なく支所窓口業務が対応できるよう、職員及び嘱託職員に対して業務に関する研修を行い、よりよい市民サービスが行えるよう、事務処理能力の向上を図っていく。</p> <p>また、地域諸団体に対しては、引き続き自立を要請していく。</p>

一次評価(課長評価)

今後の方向性	<p>A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了</p> <p>B:現状のまま継続 D:廃止又は休止</p>	A	改善の必要性
	<ul style="list-style-type: none"> ●支所の役割、位置づけの明確化を図っていく。 ●施設管理の円滑化並びに支所業務の適切かつ柔軟な体制づくりに努めていく。 ●地域団体の自立を引き続き要請する。 		有
担当課長氏名:		大船支所長 熊谷 直行	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	<p>A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了</p> <p>B:現状のまま継続 D:廃止又は休止</p>	A	改善の必要性
	<p>職員の資質の向上を目指すとともに、地域の拠点として市民サービスの拡充を図り、市民生活の安定・向上及び福祉の増進に努める。</p>		有
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子